

保護者様からの事業所評価の集計結果

公表：平成 31年 3月

事業所名 あゆみ園

保護者等数(園児数) 58名 回収数 49名 割合 84%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	8		2	・園庭は広い。 ・教室が狭い。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	38	2	2	7	・専門性は不足を感じる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害のまた、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	38	3		8	・情報伝達できている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか。	33	12		4	・清潔・心地よい環境になっている。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	48	1			
	⑥	児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	45	2		2	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	44	2		3	
	⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	32	4		13	・活動の内容を事前に知らせてほしい。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	4	23	19	・機会を作ってほしい。 ・交流には今くらい慎重で良いと思う。 ・交流しなくていいと思う。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	7	1	2	
	⑪	作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	47	1			
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	25	8	3	13	・園だよりで取り上げられていて良かった。 ・ペアレントトレーニングが分からない。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	45	3		1	・連絡帳に細かく書いてあり、良い。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	44	5			・とても参考になる。 ・もっと育児に関する助言をしてほしい。

	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の連携が支援されているか	41	7		1	・支援されていると実感する。
	⑯	子どもや保護者からの相談の申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	37	6	2	4	・対応されている。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	5			
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	40	4	1	4	・ホームページはあまり活用されていない。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	43	1	1	4	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	30	6	1	12	・マニュアルや周知はされていないかも。 ・実際の連絡が入ったことがある。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31	4		14	・訓練が行われている。 ・内容は分からない。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	43	4		2	・嫌がることはあるが、楽しんでいると思う ・本人のペースで通所できている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	43	3	1	2	・ひらがなやえんぴつの使い方もたまにはやってほしい。

事業所における児童発達支援自己評価結果

公表：平成 31年 3月

事業所名 あゆみ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	16	5	
	②	職員の配置数は適切である	10	11	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	16	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11	9	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	5	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	6	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14	1	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	10	5	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	21		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び意向支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18		

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	21		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	20		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	20		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	19	1	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	19	2	
	⑱	支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	19	2	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	19	1	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	20		
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14	5	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11	3	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	6	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	5	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	18		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	17	1	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12	5	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		16	

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	11	3	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	21		
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	9	
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	3	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	15	1	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	20		
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15	3	
	③6	子どもや保護者からの相談の申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談の申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	20		
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18		
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意している	21		
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	20		
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	12	5	
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	11
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	8	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	20	1	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	19	1	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	3	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13	6	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	8	

## 児童発達支援自己評価表（事業所職員向け）

- ②・土曜日など、時々適切ではない時がある。
- ③・バリアフリー化に関しては、一部スロープになっている部分はあるものの、完全ではない。
- ④・中央トイレの立ち便器、使用後に流水できないため異臭がある。
  - ・柵やロッカー、窓枠等、登ることができる高さのため危険と感じる。
  - ・段ボールで塞いだりと環境改善の工夫をしているが、子どもとのイタチごっこになっている。
- ⑤・多様な就労形態の職員がいるため、一部職員に留まっている気がする。周知させていきたい。
- ⑥・評価表はあるが、業務改善に繋げているのかは分からない。
- ⑦・ホームページでの公開は知っているが、どの程度業務改善されているかは分からない。
- ⑧・第三者評価は行っていない。
- ⑩・終了後に関わらず、時間がある時に相談や打ち合わせができています。
- ⑪・相談支援事業所（相談支援専門員）とはモニタリング等を行うなど連携は取れているが、サービス担当者会議の実施には至っていない。
- ⑫・医ケア児の受け入れなし。
- ⑬・医ケア児の受け入れなし。
- ⑭・父母の会があるのは知っているが、支援しているかは分からない。
- ⑮・夏祭り、ちびっこ広場、ふれあいサロン等を開催し、地域の方々にも参加していただいている。
- ⑯・月1回の避難訓練、年2回の総合防災訓練を実施している。
  - ・火事以外の災害についての訓練は行っていないので、今後検討し実施していきたい。
- ⑰・入園前の面談、育児資料での確認を行っている。
- ⑱・食物アレルギーがある児については、診断書・検査結果の提出をお願いしている。また、栄養士との面談も実施している。
- ⑲・ヒヤリハット事例については、報告書にて共有しているが、事例集の作成は行っていない。
- ⑳・やむを得ず身体拘束を行うことがある旨は、重要事項説明書にて説明を行っている。
  - やむを得ず行った場合には、その時に説明している。